

適用規格							
定 格	使用温度範囲	-40 °C ~ +85 °C (注1) $\triangle$		保存温度範囲	-10 °C ~ +60 °C (注2)		
	使用湿度範囲 $\triangle$	40 % ~ 80 %		保存湿度範囲 $\triangle$	40 % ~ 70 % (注2)		
	電 圧	AC 250 V	UL-CSA 定格 $\triangle$	AC 30 V			
	電 流	2 A		2 A			
性 能							
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT
構 造	外觀, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○
	表示	目視にて確認する。				○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。		30 m $\Omega$ 以下		○	-
	絶縁抵抗	DC 500 V で測定する。		1000 M $\Omega$ 以上		○	-
	耐電圧	AC 650 V の電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	-
機 械 的 性 能	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗: 30 m $\Omega$ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	-
	耐振性	周波数 10~55 Hz、片振幅 0.75 mm で 3 方向 各 2 時間試験する。		① 1 $\mu$ s 以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	-
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。		① 1 $\mu$ s 以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	-
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 $\pm$ 2°C、湿度 90~95 % 中に 96 時間放置する。		①接触抵抗: 30 m $\Omega$ 以下 ②絶縁抵抗: 500 M $\Omega$ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	-
	温度サイクル	温度 -55 $\rightarrow$ +5~+35 $\rightarrow$ +85 $\rightarrow$ +5~+35°C 時間 30 $\rightarrow$ 5~15 $\rightarrow$ 30 $\rightarrow$ 5~15分 を 5 サイクル 試験する。		①接触抵抗: 30 m $\Omega$ 以下 ②絶縁抵抗: 1000 M $\Omega$ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	-
	半田耐熱性	【 70-半田付けの場合 】 半田温度 260 $\pm$ 3 °C、 浸漬時間 10秒間で試験する。 【 手半田の場合 】 半田ごてで 290 $\pm$ 10 °C、 3 秒以内の条件にて半田付けを行う。 但し、端子に力を加えないこと。		外觀の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。		○	-
	半田付け性	半田温度 245 °C、 浸漬時間 10秒間の半田付けを行なう。		半田浸漬面の 95 % 以上が 新しい半田で濡れていること。		○	-
備 考							
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。							
(注2) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。							
	$\triangle$ の数	訂正記事		設計	検図	年月日	
$\triangle$	4	DIS-H-008583		MI. SAKIMURA	HK. UMEHARA	14. 03. 25	
試験規格の記載のない試験方法は JIS C 5402 を適用している。				承認	KJ. KATAYOSE	05. 01. 05	
				検 図	TY. OMA	05. 01. 05	
				担 当	IO. DENPOUYA	05. 01. 05	
				製 図	IO. DENPOUYA	05. 01. 05	
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図番		SLC4-162401-10	
<b>HRS</b>	製 品 規 格 表			製 品 名		DF11-*DS-2DSA (06)	
	ヒロセ電機株式会社			製 品 コ ー ド		CL543	$\triangle$ 1/1